



密陽市役所



アリラン祭りが盛大に行われる密陽川河川敷



訪問団一行が訪れた表忠寺



韓国三大楼閣の一つの嶺南楼



朝鮮通信使行列

松雲大師 (四溟堂)
 日韓善隣友好のシンボルである朝鮮通信使を通じた縁を礎に、その先駆的役割を果たした松雲大師とは、どのような人物だったのでしょうか。

1544年、密陽市武安面^{ムアン}で生まれた松雲大師は、幼いころから聡明で、6歳ごろから儒学を学び、詩文に優れていました。

1592〜1598年、文祿・慶長の役を経て、1604年、朝鮮国王の命を受け、日本に渡ります。対馬(3カ月滞在)を経由し、12月に京都に到着。

1605年3月、京都伏見城で將軍徳川家康と戦後処理や講和について会談し、国交回復、通信使派遣などの道を開きます。

伏見城会談の結果に基づき、1607年回答兼刷還使(朝鮮通信使)が日本に派遣されました。

以後1811年まで12回にわたり、通信使が来日しました。その通信使が、立ち寄った寄港地の一つが、牛窓です。

400年前の松雲大師の渡日は、まさに朝鮮通信使のさきがけでした。その松雲大師の生誕地である密陽市に、このほど「松雲大師遺跡地記念館」が完成し、4月7日、開館式が盛大に挙行されました。



松雲大師遺跡地記念館開館式



松雲大師 (四溟堂)



歓迎ムードいっぱいに披露されたヨンホノリ



密陽市

大韓民国慶尚南道東北部に位置する密陽市は、面積799平方キロメートル、人口12万人のまちです。

山紫水明に恵まれた観光と農業のまちである同市は、韓国の民謡・密陽アリランのふるさととして有名です。

また、韓国三大楼閣の一つ嶺南楼をはじめ、多くの名所・旧跡があり、年間百万人以上の観光客が訪れます。

農業が盛んで、豊かな耕地を利用した野菜農園を中心に、稲作のほかハウス裁

培も盛んで、キュウリ・ミニトマト・エゴマ・紅色唐辛子などを栽培しています。

エゴマは四季を通じて新鮮な野菜の供給ができ、健康食品に多く利用し輸出されています。

また、果樹特産品のリンゴは、果汁糖分が多く、甘さでは韓国一の名産品になっています。

そのほか、毎年6月中旬から真夏にかけて凍り、秋ごろから氷が溶け始めるという天然記念物の「氷の谷(オムルゴル)」が有名です。